

とちぎ多文化共生フォーラム2026

栃木県でも外国人住民が増え、子どもから大人まで、さまざまな国籍や文化を持つ人が暮らしています。互いを知り、一人ひとりの経験や思いに耳を傾けながら、これからの地域のあり方を一緒に考えてみませんか。

12月12日
(土)

時間 13:30～15:30(開場13:00)

会場 栃木県庁 講堂(東館4階)

対象 県民の方(県内通勤、通学の方含む)
100名(先着順) ※申し込み方法は裏面をご覧ください。

参加
無料

基調講演

「ちがいを超えて ともに生きる」



やの
矢野 デイビット さん

(ミュージシャン、一般社団法人Enije代表、
明星大学客員講師)

日本人の父とガーナ人の母との間にガーナで生まれる。6歳で来日。モデル、ミュージシャンとして活動し『世界ふしぎ発見!』ほかメディア、宮本亜門演出のミュージカル『グレイ・ガーデンズ』『チョコレートドーナッツ』等に参加。25歳で教育を柱とする自立支援団体Enijeを設立。「楽しんだ代価をチャリティに」をテーマにフットサル大会等を開催し、ガーナの教育支援につなげる活動に取り組むほか、国内では多文化共生をテーマとした講演も多数行っている。

パネルディスカッション

「一人ひとりの物語から考える、 多文化共生のこれから」



基調講演のデイビットさんもパネリスト
として登壇します!

コーディネーター



うすい よしこ
臼井 佳子さん

NPO法人宇都宮市国際交流協会理事
フリーアナウンサー、日本語教師

パネリスト(五十音順)



ポー ウィン ズン さん

ミャンマー、ヤンゴン市生まれ。
2023年に来日してから足利市内で機械
設計エンジニアとして勤めている。足利市
国際交流協会日本語ボランティア講師
としても活躍中。自身の日本での生活・
就労経験をもとに、多文化共生について
発信している。



リー ペレス ファビオ さん

韓国ソウル生まれ。父はメキシコ人、母は
韓国人。幼少期を6カ国での移動生活の
なかで過ごす。2013年来日。大学院修了
後、現在は宇都宮大学国際学部で文化
人類学の研究・教育に従事。異なる文化
の中で生きる人々が、いかに他者と関わり
自己を形成しているのかに注目している。

当日プログラム・お申し込み

SCHEDULE / ACCESS / HOW TO APPLY

プログラム 13:30 ~ 15:30 [開場 13:00]

基調講演 「ちがいを超えてともに生きる」

講師：矢野 デイビット さん（ミュージシャン、一般社団法人Enije代表、
明星大学客員講師）

パネルディスカッション 「一人ひとりの物語から考える、多文化共生のこれから」

質疑応答 会場の皆さまからの質問やコメントにパネリストがお答えします

会場アクセス

栃木県庁（栃木県宇都宮市塙田1-1-20）
講堂（東館4階）



※県庁地下駐車場は、駐車台数に限りがありますので、公共交通機関の御利用をおすすめします。

お申し込み & お問い合わせ

右の二次元コード、下記URL、またはお電話でお申し込みください。

<https://forms.gle/cnfEKU5mTrtJ8hnd6>

お申込み締め切り：12月8日（火）

（定員に達し次第、受付終了いたします）



公益財団法人栃木県国際交流協会(TIA) TEL 028-621-0777

（火～土 9:00～17:00）

主催 栃木県